

令和6年度 由布市人材育成通信

「人を育むまちづくり」を掲げる由布市では、3つの柱を中心に13年間を見通した人材育成教育を展開しています。

由布市教育委員会では、地域の子どもを地域で育てることを大切にし、幼児期から高校卒業まで「13年間を見通した人材育成教育」を展開しています。

主に3つの柱を中心に取り組みを進めているところです。



1 校種間連携

幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携

幼稚園・保育園・こども園と小学校の連携を深めるため、7月に職員による連携交流会を開催しました。今年度は、幼稚園・保育園・こども園の先生による公開保育や、小学校の先生による公開授業を実施するなど、幼児教育施設と小学校との交流が盛んになりました。

小学校・中学校の連携

小学校6年生が中学校を訪問しました。中学校2年生による中学校の1日の生活の流れや委員会活動・部活動・行事の紹介などを行いました。この活動を通して、小学生が中学校の様子を理解するとともに、準備や運営に取り組んだ中学生にとっても、充実した交流会になりました。



中学校と由布高校との連携

中学生と由布高校生徒の連携を深めるために次のことに取り組みました。それぞれの取り組みを通して、由布高校の魅力が中学生に伝えることができました。



1年生・・・由布高生の終礼訪問



2年生・・・由布高校振興大会



3年生・・・体験入学

2 情報活用能力の育成

由布学の取り組み

由布市のひと・もの・ことを題材に、ふるさとと自分の未来について考える「由布学」を幼、小、中、由布高校で行っています。

～由布の「ひと」・「もの」・「こと」を題材に、課題解決型学習を展開する、幼・小・中・高13年間の学び～をテーマに各地域の特色を生かした取り組みを進めています。

【東庄内小の取り組み】



庄内で作られる米について、地域の方の話を聞いたり、調べたりして得られた情報を、整理し、分析することで、庄内で米を作ることの良さを理解し、自分たちなりの考えをまとめ、発表を行いました。

【庄内中の取り組み】



1年生で、市内の職業について学び、職業について理解を深めました。

2年生になり、働く人の話を聞いたり、由布市の取り組みを調べたりすることで、由布市に必要なことはどんなことか、課題を設定しました。

他の市町村の取り組みと比較し、自分たちの考えを「提言」としてまとめ、市長・教育長に聴いていただきました。

【由布高校の取り組み】



由布高校観光コースの生徒が企業と連携し、商品開発を行いました。

大分県のことを知ってもらうために、トイレットペーパーに大分県にまつわる絵柄や文章を掲載した「トイレに行けば行くほど大分が好きになるトイレットペーパー」をつくりました。

この商品は、お土産として大分空港などで販売されるということです。

由布高校の生徒のアイデアが詰まった商品ができました。



3 英語力の育成

各中学校の取り組み

各中学校において、3年生の授業を対象に「乗り入れ授業」を実施しました。由布高校の英語科と数学科の教員が各中学校で合同の授業を行っています。

英語検定試験の取り組み

社会の急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実が重要であることから、由布市内の中学校3年生が英語検定試験に挑戦しています。

※中3生の英検受験料は由布市が補助をしています。(上限あり)

4 その他

由布高生によるプログラミング学習

由布高校の生徒が、ドローンプログラミングを学習し、学んだことを活かして、由布川小学校と庄内中学校の子どもたちに教える取り組みを行いました。

子どもたちはプログラムされたとおりに動くドローンに、喜んでいました。

